中央区の“ちょっとすごい!”を見て歩き

中央区まちかど展示館

2021 Summer
Vol. 10
日本橋編 Part.4
TAKE FREE

水陸を人と物が行き交う商いのまち

日本橋 Part.4

本町・室町・日本橋



【特集】
浮世絵と写真で巡る日本橋

故きを温ね新しきまちを知ろう!
日本橋エリアMAP Part.4

江戸のまちとのつながりを発見!
まちかど展示館訪問

【新連載】
アートライター 林 綾野の
中央区 食とアートを味わおう
食の痕跡、絵画の道楽

Facebook公式ページ
中央区まちかど展示館

ホームページURL
https://www.chuoku-machikadotenjikan.jp

季刊誌『中央区まちかど展示館』Information

既刊Vol.01〜Vol.09もダウンロードできます



Vol.01 日本橋編
Vol.02 銀座・京橋／月島編
Vol.03 総集編
Vol.04 月島編
Vol.05 日本橋編 Part.1
Vol.06 銀座・京橋編 Part.1
Vol.07 日本橋編 Part.2
Vol.08 日本橋編 Part.3
Vol.09 銀座・京橋編 Part.2

中央区まちかど展示館ウェブサイト
季刊誌ダウンロードページ
https://www.chuoku-machikadotenjikan.jp/book.html

次号Vol.11は
佃・勝どき・晴海編です。
江戸文化を今に伝える各展示館を訪問します。お楽しみに!

◎発行日：2021年7月7日
◎発行：中央区まちかど展示館運営協議会（中央区区民部文化・生涯学習課内） tel：03-3546-5346 mail：b-syogai_01-mk@city.chuo.lg.jp
◎制作：Asaba & Co ◎デザイン：CAN DO CREATION ◎撮影：kt-design ◎文：秋元祐子 ◎イラスト：堀口珠美

キリトリ

POST CARD
〒104-8404

恐れ入りますが
63円切手を
貼って
お出しください。

中央区築地1-1-1 中央区役所（文化・生涯学習課内）
中央区まちかど展示館運営協議会

中央区まちかど展示館アンケート 係行

差し支えない範囲でご記入ください。
お答えいただいた個人情報は、本紙アンケートの目的のみに使用されるもので、その他に使用することはありません。

◎ご住所 〒
◎お名前
◎電話
◎性別 男・女
◎年齢
◎職業

江戸時代

江戸開府とともに急発展し、日本橋は日本橋川を中心に交通と物流の要となりました。周辺には全国から商人や職人が集まり町人文化の中核に。

浮世絵と写真で巡る日本橋

今も昔も江戸東京の中心地！地図とあわせて当時の日本橋を見て回ろう！



「熙代勝覧 複製絵巻」(部分)／
名橋「日本橋」保存会事務局
三越前駅地下コンコースに
複製が展示されています。

3 駿河町

駿河町を含めた
現・日本橋室町には
問屋がズラリ。
越後屋呉服店
(現・日本橋三越)は
江戸庶民憧れの店。



名所江戸百景
するかてふ／
歌川広重(1856年)※

4 一石橋（いちこくばし）



名所江戸百景
八ツ見のはし／
歌川広重(1856年)※



名所江戸百景 日本橋江戸ばし／歌川広重(1857年)※



東都名所日本橋之白雨／歌川広重(19世紀)※



復刻版「分間江戸大絵図」
原本刊行年:文政11(1828)年
協力:こちずライブラリ

江戸名所道化尽 十七
通壱丁目祇園会／
歌川広景(1859年)



5 通町（とおり）

通一丁目(現・日本橋
一丁目)には誰もが知る
白木屋(しろきや)があり、
江戸最大の繁華街でした。



名所江戸百景
日本橋通一丁目略図／
歌川広重(1858年)※

1 日本橋

五街道の起点・日本橋。
江戸を代表する名所として
多くの錦絵が描かれました。



東海道五十三次 壱 日本橋／
葛飾北斎(1804年)

6 江戸橋

現在より下流にあり、多くが日本橋と
セットで描かれました。



日本一江戸橋娘行列之図／
春川英蝶(天保時代1831～1845年)

2 魚河岸

家康が魚の市中商いを
許可して以来、
日本橋北側河岸は
江戸随一の
魚市場として繁栄。

五十三次名所図会 一 日本橋／
歌川広重(1855年)※





画像提供：中央区立京橋図書館・※は国立国会図書館

明治～昭和

海外文化も積極的に受け入れ、震災や戦災の度さらに大きく成長。変わる街並の中に江戸の暖簾や文化が息づいています。

1 日本橋（橋）

明治以降、すべての国道の起点に。
橋の姿は変わっても交通の要所は変わらず。



日本橋
Niphon Bashi,
YEdo.
（明治5年）

幕末期に造られた木の太鼓橋



明治5年、電信線が日本橋南詰に来た

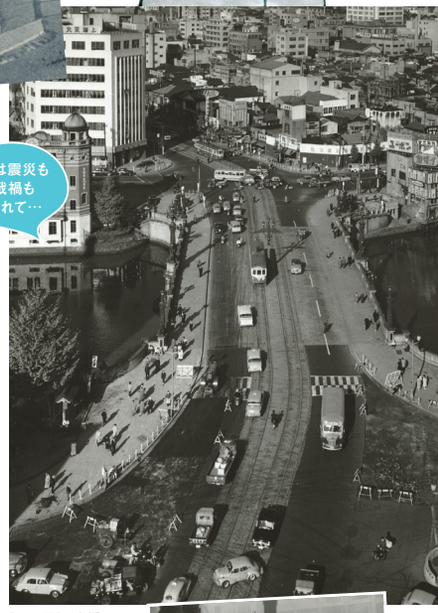
東京各大区之内 日本橋電信局／歌川 国輝（2代目）（明治6年）



現在も現役の石造の橋

日本橋開橋紀念絵葉書
明治四十四年四月開橋式挙行の
日本橋（明治44年）





橋は震災も戦禍も免れて…

"お江戸"日本橋／
山田衷二朗撮影
（昭和32年頃）



お江戸日本橋／
村松晴雄撮影
（昭和37年頃）

2 魚河岸

明治期以降も賑わいましたが、
関東大震災で甚大な
被害を受け築地市場へ移転。



今は神田明神内にある魚河岸水神社のお祭り

魚河岸の水神祭（大正9年）

3 日本橋室町

越後屋は日本初の
百貨店へ。
歴史的建築も生まれ
商業と
ビジネスのまちに。



三井は日本初の民間銀行
手前は両側とも越後屋

明治大正建築写真聚覧
駿河町三井組 後三井銀行（明治12年頃）



土蔵造や瓦屋根が普及

大正5年ころの
日本橋―三越屋上から
（大正5年）



日本橋区は全域が焼失

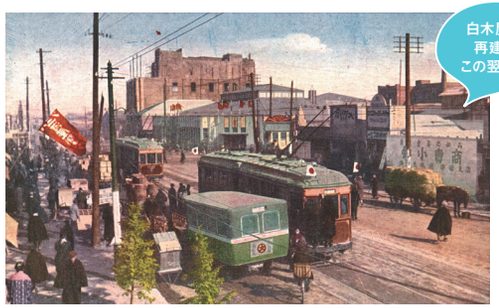
震禍のあと、日本橋本町附近（大正12年）





4 日本橋

橋名がそのまま町名に。白木屋の跡地は現・コレド日本橋。
昭和8年建築の日本橋高島屋は重要文化財。



白木屋の再建はこの翌年に

日本橋大通り―白木屋附近
（昭和5年頃）



日本初の高層ビル火災
ズロース伝説も有名

白木屋の火事
（昭和7年）

5 江戸橋

震災後、江戸橋は現在地へ。周辺の変遷は「三菱倉庫・江戸橋歴史展示ギャラリー」で学べます。（→P.19参照）



明治13年にできた七つ蔵が

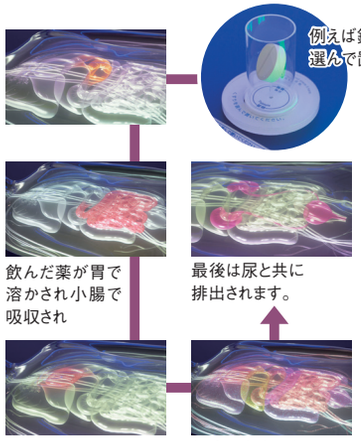
古今東京名所 江戸橋 古手蔵 日本橋 江戸橋 三菱の荷蔵／
歌川広重（3代目）（明治16年）

Daiichi Sankyo くすりミュージアム

薬のまち・日本橋本町で「くすり」を楽しく学ぶ！第一三共の想いが伝わる体験型ミュージアム。

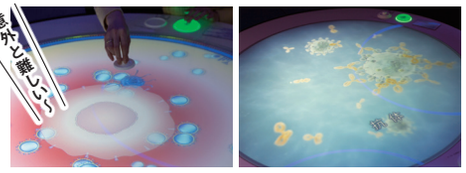


巨大な人体模型のある「くすりのうごき」コーナーでは、薬の形状によって異なる体内での流れが、立体的な映像でよく分かります。





「くすりのはたらき」コーナーでは、対戦型ゲームで遊びながら薬が効く仕組みを学べます。



インフルエンザウイルスを薬と一緒にやっつけよう!



1階では可愛いキャラクターと一緒に記念撮影できます。SNSにアップしてもOK♪（フォトスポット以外での館内撮影は禁止です）

来館記念に買いたいオリジナルクリアファイルやボールペン。



江戸日本橋を描いた「熙代勝覧（きだいしょうらん）」の通本町（現・中央通り）には10軒近い薬種問屋が描かれています。

「熙代勝覧 複製絵巻」より部分／名橋「日本橋」保存会事務局





熙代勝覧にも描かれた大看板

くすりミュージアムは、2つの製薬会社が合併して誕生した第一三共（株）の本社に併設。「くすりと日本橋」コーナーでは、日本橋本町と薬の歴史的な関係を映像で学べます。



建築中に起きた関東大震災にビクともしなかった三共本社ビル（1923年）。横浜に創業した三共は明治42年に室町へ本社を移転。



第一製薬は大正4年、現・日本橋3丁目に創業。（昭和4年完成の本社ビル）



館内で流れる映像には、実際に当社の社員や関係者が出てくるんですよ！

お話を伺った方
広報グループ
三宅 千穂さん



日本橋本町にある現・東京薬事協会が昭和4年、屋上に薬祖神社を建立。今は日本橋室町の「福徳の森」に。



中央区まちかど展示館
Daiichi Sankyo
くすりミュージアム

―日本橋との関わりは？

ここ日本橋本町は江戸幕府によって薬種（やくしゅ）問屋が多く集められ、江戸の薬取引の中心地でした。「三丁目匂わぬ店は三、四軒、四丁目もまだちらほらと匂う也」と川柳に詠まれるほどで、匂う店とは薬種問屋のことなんです。明治には西洋の薬を輸入したり、後に薬を製造したりと業態は変化してきましたが、日本橋本町はずっと薬の街でした。今も日本を代表する製薬企業が多くあります。ここから歩いてすぐの薬祖（やくそ）神社は、日本橋本町の薬業界が百年以上前から信奉してきた薬祖神がお祀りしてあり、多数の薬に関係のある会社が寄進しているのを見ることができます。

―ここはどんな展示館ですか？

薬を楽しく知って欲しいと開設した体験型施設です。CG映像や豊富な模型を見て、ゲームやクイズもしながら学べます。来館したお客様には、まずICチップ入りのメダルをお渡ししますので、それを館内の各所に置くことで、お客様に合わせた映像や解説がスタートします。周りの方にはうるさくないように超指向性スピーカーを使っているんですよ。夏休みはご家族連れがたくさんいらっしゃいます。当面は完全予約制のためホームページをご覧になってくださいね。



Daiichi Sankyo くすりミュージアム

管理者:第一三共株式会社（平成24年度認定）
東京都中央区日本橋本町3-5-1　03-6225-1133
休 火〜日曜日、祝日、振替休日（年末年始等を除く）
10:00〜18:00　※要予約
JR新日本橋駅5番出口 徒歩1分
都営浅草線・都営新宿線 三越前駅A10番出口 徒歩2分
https://kusuri-museum.com/

※臨時休館や開館時間の変更を行う場合があります。詳しくはお問い合わせください。

楊枝資料館

職人による手作りの楊枝を商い300年。
日本唯一の楊枝専門店さるやで江戸の粋を見る。



今に残る一番古い店の写真。町屋の構えに江戸の雰囲気が残り店員さんも和装。

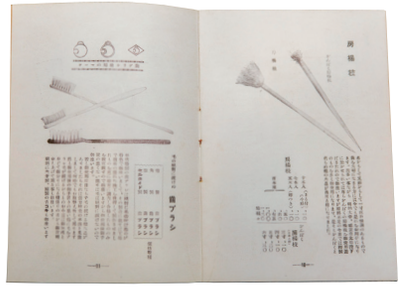


歌川国芳による江戸末期の錦絵。以前店があった照降町（現・日本橋小網町）にさるやが描かれています。町名の由来は晴れでも雨でも賑わう町とのこと。



石造り風の看板建築が味わい深い次の代の建物。





大正～戦前のものと思われる貴重な目録。江戸時代の歯ブラシである房楊枝と現代の歯ブラシが見開きで紹介され、まさに過渡期！



祖父から聞いた話では、大正生まれの中には昭和に入っても房楊枝を使い続ける人もいたそうです。

お話を伺った方
代表取締役
山本 亮太さん



空襲で焼けることがなかったさるやには、歴代の古い目録（商品カタログ）も残っているとか。



―さるやの歴史は？

江戸の宝永年間（1704～1711年）に開業し、最初は房楊枝を扱っていたようです。当時の楊枝屋の多くは猿屋という屋号を使っていたそうで、その理由は猿は歯が白いからとも、猿を連れて売り歩いていたからとも言われています。実際に楊枝師と猿が一緒に描かれた文献も残っているんですよ。当店は七郎兵衛の名を六代ぐらい襲名していたようで、私が九代目になります。

―ずっと日本橋ですか？

2013年にここに移転する前は、江戸時代に照降町と呼ばれた日本橋小網町にありました。店頭にある錦絵にはさるやのマークの「括猿」の店が描かれていますが、櫛などの小間物も置いてあり、賑やかな通りの印象を描いたものかもしれません。

―さるやの楊枝とは？

日本の楊枝はさまざまな木が使われますが、さるやでは高級とされる黒文字だけを使っています。一本ずつ作る手作業ですから熟練の職人でも一日400本程度しか作れません。実は楊枝作りの技術自体は難しいものではないんです。なので会社勤めを引退してから職人を目指す方も多いんですが、同じクオリティで手早く作り続けることが難しい、そこが職人の技ですね。



江戸の粋を感じるさまざまな楊枝からお土産を選ぶのも楽しい。



店内の額の中に細工楊枝をズラリと展示。基本形のほか、白魚、うなぎ等の形を巧みに削り出したものも。房楊枝の実物の展示もあります。



桐箱に好きな文字を手書きしてもらえる名入れ楊枝は、誕生日や敬老の日のプレゼントにもおすすめ。



職人技が光る極細の上角楊枝。芳香を持つ黒文字は折れにくく、さささくれにくい、爪楊枝の代名詞。



黒文字を原料に沖縄の蔵元とコラボした泡盛、黒文字のお香など、大変珍しい品も揃えています。



黒文字の箸置きと楊枝がひとつになった新商品。おもてなしに使えば話題になることうけあい。

上角楊枝ができるまで



クロモジの原木を6cmの長さに鋸で切断。

小割りナタで縦に何度か割り細くします。

全体を1.5mmの細さにし、先を削って尖らせます。

削り過ぎないよう仕上げ、乾燥させて完成。

楊枝資料館
管理者:株式会社日本橋さるや
（平成25年度認定）
東京都中央区日本橋室町1-12-5
03-5542-1905
月～土曜日（祝日を除く） 10:00～18:00
三越前駅A1番出口 徒歩5分
http://www.nihonbashi-saruya.co.jp/

※臨時休業や営業時間の変更を行う場合があります。詳しくはお問い合わせください。

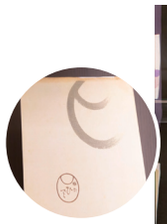
まちかど展示館訪問

聚玉文庫ギャラリー

時代の一流画家が生んだ美を暮らしへ。
日本橋で榛原が伝え続ける、紙と手仕事の文化。



団扇は創業時より日本橋の夏の風物詩。美しい榛原千代紙の中には河鍋暁斎が描いた柄が。







右手奥のショーケースに聚玉文庫の資料を季節に合わせて展示。取材時には、今も日本橋エリアに店を構える老舗名店の「誂え団扇」の下絵（団扇絵）もありました。

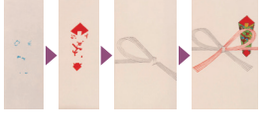


＼浴衣の後ろ姿のアクセントにも♪／



店内のパネルでは、竹久夢二が愛した日本橋界隈を紹介。夢二の図案を使った一筆箋は展示館のお土産にもぴったり。
「薔薇（左）」、「胡瓜（右）」。







摺師（すりし）が1色1色、手作業で版を重ねて完成させた熨斗袋。木版摺りならではの華やかな色合いと温もりは、まさに小さな錦絵です!



永代通り沿いに建つ「榛原と日本橋」の記念碑には、榛原の歴史と歴代店舗の場所が紹介されています。（P.13参照）



店内に展示されている、文明開化期の榛原を描いた錦絵。通一丁目（現・日本橋一丁目）にあった店には、現在同様、のれんや榛原団扇が見えます。



錦絵にある幕末～大正期の店舗の写真（明治40年頃）。



宮内省の御門鑑（通行証）



昭和初期の榛原ビル。関東大震災で旧店舗は全焼し、昭和4年に永代通り沿いに移転して再開。



2015年、再開発により中央通りの現店舗へ。建物は榛原千代紙の図案を表現した外壁などが評価されグッドデザイン賞を受賞。



榛原が創業した頃の古地図をあしらったオリジナルのレターセットも販売しています。

＼現在のお店はココ!／

中央区まちかど展示館
聚玉文庫ギャラリー

―榛原の歴史とは？

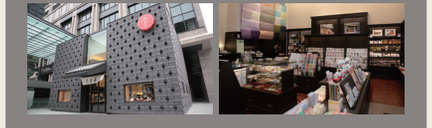
文化3（1806）年に日本橋のたもとで、初代が紙、墨、薬の商いを始めました。特に雁皮紙という高級和紙は、滑らかできれいに書けると粋を好む江戸で評判となり一躍榛原の名を高めました。ほかに熨斗、千代紙等の小間紙、扇子、襖紙なども扱いましたが、夏の団扇は江戸っ子の間で大流行して、江戸土産としても知られたそうです。

―聚玉文庫とは？

三代目当主が柴田是眞、河鍋暁斎といった幕末から明治を代表する画家と交流を深め多くの榛原製品のための下絵を残し、貴重な絵画資料も収集したのですが、関東大震災でその多くを失ってしまったんです。それを見た四代目が紙文化を守ろうとコレクションを再建し聚玉文庫が誕生しました。四代目は年が近かった竹久夢二とも仲が良く、数多くの図案を依頼しました。榛原のお客様でもあった夢二は呉服町（現・日本橋）に木版画や絵本等を売る店を開いた時期もあり、日本橋は大切な場所だったようです。

―お客様へ伝えたいことは？

明治時代には包みや水引の作法の授業もあったそうで、日本人はそれらを視覚言語の一つとして伝えてきました。節目の贈り物の際には、ぜひ紙や水引にも心を込めてみてください。



聚玉文庫ギャラリー
管理者：株式会社榛原（平成25年度認定）
東京都中央区日本橋2-7-1
03-3272-3801
休 通年（祝日・年末年始・盆休みを除く）
時 10:00～18:30（土日は17:30まで）
交 日本橋駅B6番出口 徒歩1分
https://www.haibara.co.jp/

※臨時休業や営業時間の変更を行う場合があります。詳しくはお問い合わせください。

今と歴史が共存するまちを歩こう

日本橋エリア散策MAP

今回は日本橋を中心にして南北のエリアをご紹介。
メインストリートから路地裏まで、
江戸と東京が交じり合う街をお楽しみください。



04 室町ボンクール 本店
>> P15

お店の地下で朝昼晩と美味しいパンを焼き上げる街のベーカリー。お惣菜パンから季節のデニッシュ、クリームぎっしりのロールケーキまでズラリと並び、近隣に勤める人達も毎日頼りにしているとか。



05 永代通りと榛原（はいばら）記念碑
>> P15

四季それぞれの樹木が美しい永代通り沿い、榛原の旧本店跡地に記念の石碑が建てられています。関東大震災後から平成22年まで約90年間、この地で親しまれた旧店舗に思い出のある方もぜひ。（P.10参照）



06 江戸風御菓子司 日本橋 長門（ながと）
>> P15

享保年間に創業、代々徳川家の菓子司を務め、名字帯刀や葵の紋の使用も許されたという老舗。こぢんまりしたお店に、久寿(くず)もちという名のわらび餅や切羊羹を求める人がひっきりなしに訪れます。



07 玉ゐ 日本橋本店
>> P15

江戸前の食材として古くから江戸っ子に愛されてきた穴子料理の専門店。終戦直後に酒屋として建てられたという一軒家を利用したお店は歴史的な町屋の構えを残し、何とも言えない居心地の良さ!



Daiichi Sankyo くすりミュージアム
>> P6

01 京都鴨そば専門店 洽（あまね）

02 小林宝林堂（ほうりんどう）



楊枝資料館
>> P8

01 京都鴨そば専門店 洽（あまね）
>> P14

昼は京風鴨そばの専門店として、夜は季節の料理が楽しめる京風居酒屋として人気のお店。東京では稀な「本物のお出汁」の薄口つゆと石臼挽き蕎麦に、鴨の旨味と九条ネギのハーモニーはまさに絶品!





02 小林宝林堂（ほうりんどう）
>> P14

昭和20年より日本橋本町に店を持ち、百貨店や一流料亭に漆器や和家具を納入してきた専門店。昭和の雰囲気が漂う店内には、1階に漆器や江戸指物の小物家具、2階に豪華な漆塗りの棚等が並びます。





三菱倉庫・江戸橋歴史展示ギャラリー
>> P5

03 ゑびす横丁
>> P14

江戸の街割から生まれた細い道に小さな店舗が立ち並ぶこのエリアが、「ゑびす横丁」として粋な雰囲気に整備されました。地元商店の有志や企業が一体となって取り組む「露地再生」に注目です。



聚玉文庫ギャラリー
>> P10

日本橋エリア散策

おすすめスポット

展示館を訪れる際にちょっと足を伸ばして
素敵なお店や見どころを発見！
この夏はまち歩きの楽しさを再認識♪


6


4


2


7


5


3


1

7

アートライター
林さんおすすめ

薬味でも茶漬でも良し 穴子の箱めしに大満足

17年前に開業、瞬く間に日本橋の名店となり行列を見ることも多い玉ゐ。日本各地から仕入れた旬の天然穴子を使った穴子料理は感動を覚える旨さです。穴子ちらしや太巻きのテイクアウトもオススメ。

玉ゐ 日本橋本店
◎住所／中央区日本橋2-9-9
◎TEL／03-3272-3227
◎営業時間／月~金11:00~14:30(LO14:00)、17:00~21:30(LO21:00)、土日祝11:30~15:30(LO15:00)、16:30~21:00(LO20:30)
◎無休

6

中央区まちかど展示館
制作スタッフおすすめ

わらび粉の風味が生きる くず餅は売り切れる前に

日本全国にファンを持つ、本わらび粉を使用した長門の久寿もちは、優しい甘味とふるふるの食感に香ばしいきな粉が絶妙です。蒸し羊羹をカットした切羊羹や、季節で変わる見目麗しい上生菓子も人気。

江戸風御菓子司 日本橋 長門（ながと）
◎住所／中央区日本橋3-1-3
◎TEL／03-3271-8662
◎営業時間／10:00~18:00
◎日・祝定休

5

聚玉文庫ギャラリー
店員さんおすすめ

まちかどの新しい石碑に 榛原の歴史を知る

永代通り沿いの広い歩道は緑が美しく木陰には涼しい風が流れます。平成27(2015)年、和紙舗・榛原が現店舗に移転した際に建立された記念碑には、日本橋で200年以上もの榛原の足跡が記されています。

永代通りと 榛原（はいばら）記念碑
◎住所／中央区日本橋2-7-1

4

中央区まちかど展示館
制作スタッフおすすめ

素材や製法にこだわった 美味しいパンでひと休み

一番人気のビエノワミルク、ゴロッとお肉のビーフカレーパン、榮太樓總本舗とコラボしたあんパンと目移りする品揃え。500円以上の購入でコーヒーサービスがあり、街歩きのイートインにもぴったり♪

室町ボンクール 本店
◎住所／中央区日本橋室町4-3-12
◎TEL／03-5201-3811
◎営業時間／
平日7:30~20:00
土8:00~18:00
◎日・祝定休

3

楊枝資料館
山本さんおすすめ

昔ながらの路地が石畳に 新旧お店巡りも楽しい!

長年親しまれてきた露地が、日本橋室町と本町の一丁目エリア、通称「ムロホン」の魅力UPをめざすプロジェクトとして洒落た横丁になりました。街歩きの際は道ごとに異なる図柄のタイルを探してみては?

ゑびす横丁
◎住所／中央区日本橋室町一丁目・本町一丁目

2

中央区まちかど展示館
制作スタッフおすすめ

漆器や和家具のことなら 職人技を守り続けるここ

暮らしに似合うモダンな品も多いうえ、修理も頼めるのはさすが専門店。受け継いだ和箪笥や使い込んだ漆器も、傷みを直し塗り替えることで蘇ります。HPからの依頼もできるので気軽に相談してみたい。

小林宝林堂（ほうりんどう）
◎住所／中央区日本橋本町1-4-13
◎TEL／03-3241-2685
◎営業時間／10:00~18:00
土11:00~16:30
◎日・月・祝定休

1

中央区まちかど展示館
制作スタッフおすすめ

最後の1滴まで飲みたい 京風出汁にリピーター多数

本物の京風出汁を東京で、と2013年に開業。看板の鴨そばは、天然昆布と数種の削り節でとる出汁を活かすために選んだというこだわり。自宅で簡単調理ができる持ち帰り鴨そばも隠れた人気メニューです。

京都鴨そば専門店 洽（あまね）
◎住所／中央区日本橋小舟町4-10 西村ビル1F
◎TEL／03-6206-2853
◎営業時間／
11:00~14:30(LO14:00)
17:30~22:30(LO22:00)
◎土・日・祝定休

まちかど展示館の皆さんや
新連載のライターから
おすすめスポットをご紹介します！

◎新型コロナウイルスウイルス感染症対策のため、臨時休業や営業時間の変更を行う場合があります。詳しくは各店へお問い合わせください。

【連載 第一回】中央区 食の痕跡、絵画の道楽

日本橋界隈の賑わい

すしに蕎麦、鰻に天麩羅、酒に珈琲、すき焼きにカレー、飴にあんみつ…
中央区には江戸から今に至る食の痕跡がたくさん散らばっています。
浮世絵や日本画、洋画などアートの世界にヒントを得ながら、
食の痕跡を追いかけ、絵画の道楽も満喫してみませんか。



「日本橋魚市繁榮圖」歌川國安※





「東都名所
日本橋真景并ニ魚市全図」
歌川広重※



日本橋(魚河岸)魚市場　明治40(1907)年

魚河岸で働く男や道ゆく着物姿の女性など明治の魚河岸の様子を伝える貴重な1枚。道端に干された桶は、浮世絵に描かれているものと同じような大きさ。画中にある桶に盛られた巨大なアワビも本当に大きかったのかもしれない?!



「江戸八景 日本橋の晴嵐」渓斎英泉※

林 綾野 | キュレーター、アートライター

美術館での展覧会企画、講演会、美術書の企画や執筆を手がける。絵に描かれた「食」のレシピ制作や画家の好物料理の再現など、アートを多角的に紹介。著作『画家の食卓』、『浮世絵に見る江戸の食卓』など。また、NHK「趣味どきっ!」などのテレビ出演で幅広く活躍。



江戸・東京 食の原点「魚河岸」

右から威勢よく駆けてくるのは魚を担ぐ棒手振り。中央には真っ赤な蛸が入った籠を肩に乗せた男が丸いお腹を出して突っ立っています。左端には巨大な魚をぶら下げて運ぶ二人組み。勇ましく働く男たちが行き来する中、二本差しの武士や女性たち、親子連れに犬の姿もあります。歌川國安(くにやす)による「日本橋魚市繁榮圖」には、多くの人で賑わう日本橋・魚河岸の様子が左右いっぱいにいきいきと描き出されています。

日本橋は江戸城の外堀と隅田川の河口を繋ぐ地点に位置するいわば江戸の水上交通の要でした。日本橋とその東に架かる江戸橋までの北岸には「魚河岸」が広がり、江戸の人のみならず、地方から見物に訪れる人も多かったとか。浮世絵にも様々な角度から描かれているので見比べてみるのも一興です。中でもこの、「日本橋魚市繁榮圖」は、魚河岸に連なる納屋の中まで描かれている貴重な作例。斜めにしつらえた板舟の上に、ぶつ切りにされたマグロや平たいカレイなどの魚が並んで売られている様子がよくわかります。板舟の上や男が担ぐ桶の中のアワビに注目してみてください。とてつもない大きさに驚かされます。画面の右端には小さな店が描かれていますが、よく見ると暖簾に「寿」の文字が。気軽に立ち寄って、ぱっと食べることができるおすし屋さんのようです。魚河岸で食べるおすしは格別だったことでしょう。さらに目を凝らすと暖簾の向こうに人の姿が見えますので、すでに来客中のようですね。

歌川広重の「東都名所 日本橋真景并ニ魚市全図(ぜんず)」には、富士山を背景に日本橋とその周辺が俯瞰図として描かれています。朝焼けに赤く染まる情景が美しく雄大な眺めです。一方、渓斎英泉(けいさいえいせん)による「江戸八景 日本橋の晴嵐(せいらん)」は、橋を行き交う人々をアップで描写。一人ひとりの動きや表情、荷車に積み重なる銘酒剣菱の樽、棒手振りが重たそうに運ぶ桶いっぱいの大根などディテールを見る面白さに富んでいます。

江戸に始まった日本橋の魚河岸は、大正12年の関東大震災で壊滅的な被害に遭い、その後築地へ移ります。それまで約三百年に亘り、江戸、東京の食文化の発信地であり続けました。日本橋界隈におすし屋さんや海苔屋さんをよく見かけるのも頷けます。今ではすっかり街の様子は変わってしまいましたが、浮世絵をじっくりと見つめ、かつての風景を思い浮かべながら散歩するのもいいですね。それにしても当時の日本橋、相当に魚くさかったに違いありません。

画像提供：中央区立京橋図書館・※は国立国会図書館

まちかど展示館

江戸開府以来400年以上の歴史と伝統を誇る、中央区に伝わる多様な文化資源をご紹介しています。

中央区は江戸時代より、わが国の文化・商工業・情報の中心として発展してきた長い歴史と伝統を誇る由緒あるまちです。この魅力を皆様に広く知っていただくため、地域の文化資源を「まちかど展示館」として整備し、開設しています。展示館の規模や展示方法はそれぞれですが、中央区が誇る文化の一端をかいまみることができます。中央区の“ちょっとすごい”をぜひ、お訪ねください。

銀座・京橋エリア

① 江戸ほうき展示館
東京都中央区京橋3-9-8 ／ 03-3563-1771
月～土曜日（祝日・年末年始等を除く）／ 10:00～19:00

② 仏壇・仏具の歴史館
東京都中央区銀座7-14-3 ／ 03-3542-5771
年末年始等を除く毎日 ／ 10:00～18:00

③ 渡邊木版画展示館
東京都中央区銀座8-6-19 ／ 03-3571-4684
月～土曜日（年末年始等を除く）／ 月～土10:00～18:00 祝日10:00～17:00

④ 月光荘画材展示館
東京都中央区銀座8-7-2 ／ 03-3572-5605
年末年始等を除く毎日 ／ 11:00～19:00

⑤ 銀座かなめ屋・かんざし和装小物展示館
東京都中央区銀座8-7-18 ／ 03-3571-1715
月～土曜日（祝日・年末年始等を除く）／ 平日11:00～20:30 土曜12:00～19:00

⑥ 足袋の博物館
東京都中央区新富2-2-1 ／ 03-3551-0896
月～金曜日（祝日・年末年始等を除く）／ 9:00～17:00

⑦ ミズノプリンティングミュージアム
東京都中央区入船2-9-2 ／ 03-3551-7595
月曜日（祝日・年末年始等を除く）※要予約 ／ 10:00～16:00

⑧ 松竹大谷図書館
東京都中央区築地1-13-1 銀座松竹スクエア3F ／ 03-5550-1694
月～金曜日（祝日・年末年始・毎月最終木曜日等を除く）／ 10:00～17:00

⑨ のれん・提灯・下絵の展示館
東京都中央区築地6-5-5 ／ 03-3541-3741
月～土曜日（祝日・年末年始・市場休業日等を除く）／ 7:30～17:30

日本橋エリア

⑩ 楊枝資料館
東京都中央区日本橋室町1-12-5 ／ 03-5542-1905
月～土曜日（祝日を除く）／ 10:00～18:00

⑪ Daiichi Sankyo くすりミュージアム
東京都中央区日本橋本町3-5-1 ／ 03-6225-1133
火～日曜日・祝日・振替休日（年末年始等を除く）
／ 10:00～18:00

⑫ 小津史料館
東京都中央区日本橋本町3-6-2 小津本館ビル ／
03-3662-1184
月～土曜日（年末年始等を除く）／ 10:00～18:00

※臨時休館や開館時間が短縮の場合があります。詳しくは各館にお問い合わせください。

スタンプを設置している展示館です。

日本橋エリア

⑬ 伊場仙浮世絵ミュージアム
東京都中央区日本橋小舟町4-1 ／ 03-3664-9261
年末年始を除く毎日 ／ 8:00～20:00
（店舗は10:00～18:00 ／ 月～金曜日）

⑭ 小伝馬町牢屋敷展示館
東京都中央区日本橋小伝馬町5-19 十思スクエア別館内 ／
03-3546-5346（中央区区民部文化・生涯学習課内9:00～17:00）
年末年始等を除く毎日 ／ 9:00～20:00

⑮ 江戸屋所蔵刷毛ブラシ展示館
東京都中央区日本橋大伝馬町2-16 ／ 03-3664-5671
月～金曜日（祝日・年末年始等を除く）／ 9:00～17:00

⑯ イチマス田源 呉服問屋ミュージアム
東京都中央区日本橋堀留町2-3-8 ／ 03-3661-9351
年末年始等を除く毎日（不定休あり）／ 10:00～17:30

⑰ 江戸東京組紐 龍工房体験展示館
東京都中央区日本橋富沢町4-11 ／ 03-3664-2031
月～金曜日（祝日・年末年始等を除く）※要予約 ／ 11:00～16:00

⑱ つづら学習館 ※つづら制作のため入店できない場合があります
東京都中央区日本橋人形町2-10-1 ／ 03-3668-6058
月～土曜日（祝日・年末年始等を除く）／ 10:00～17:30

⑲ 三勝ゆかた博物館
東京都中央区日本橋人形町3-4-7 ／ 03-3662-3860（平日11:00～16:00）
月～金曜日（祝日・年末年始等を除く）／ 14:00～16:00
※1週間前までに要予約

⑳ 箱崎町箱四町会神輿庫
東京都中央区日本橋箱崎町26-1 ／ 03-5962-3137（月・水・金曜日 10:00～16:00）
通年 ／ 8:00～18:00

㉑ 染物展示館・虎の檻
東京都中央区日本橋浜町2-45-6 ／ 03-3666-5562
月～土曜日（祝日・年末年始等を除く）／ 9:00～18:00（土曜日のみ17:00）

㉒ 江戸表具展示館
東京都中央区日本橋浜町2-48-7 ／ 03-3666-6494
月～土曜日（祝日・年末年始等を除く）／ 9:00～18:00

㉓ 三菱倉庫・江戸橋歴史展示ギャラリー
東京都中央区日本橋1-19-1 ／ 03-3278-6611
月～土曜日（祝日・年末年始等を除く）／ 平日7:30～19:30 土曜7:30～13:30

㉔ 聚玉文庫ギャラリー
東京都中央区日本橋2-7-1 ／ 03-3272-3801
通年（祝日・年末年始・盆休みを除く）／ 10:00～18:30（土日は17:30まで）

㉕ 兜町・茅場町まちかど展示館
東京都中央区日本橋兜町15-3 坂本町公園内 ／ 090-2465-4001（10:00～19:00）
通年 ／ 8:30～20:00（2021年7月末まで休館）

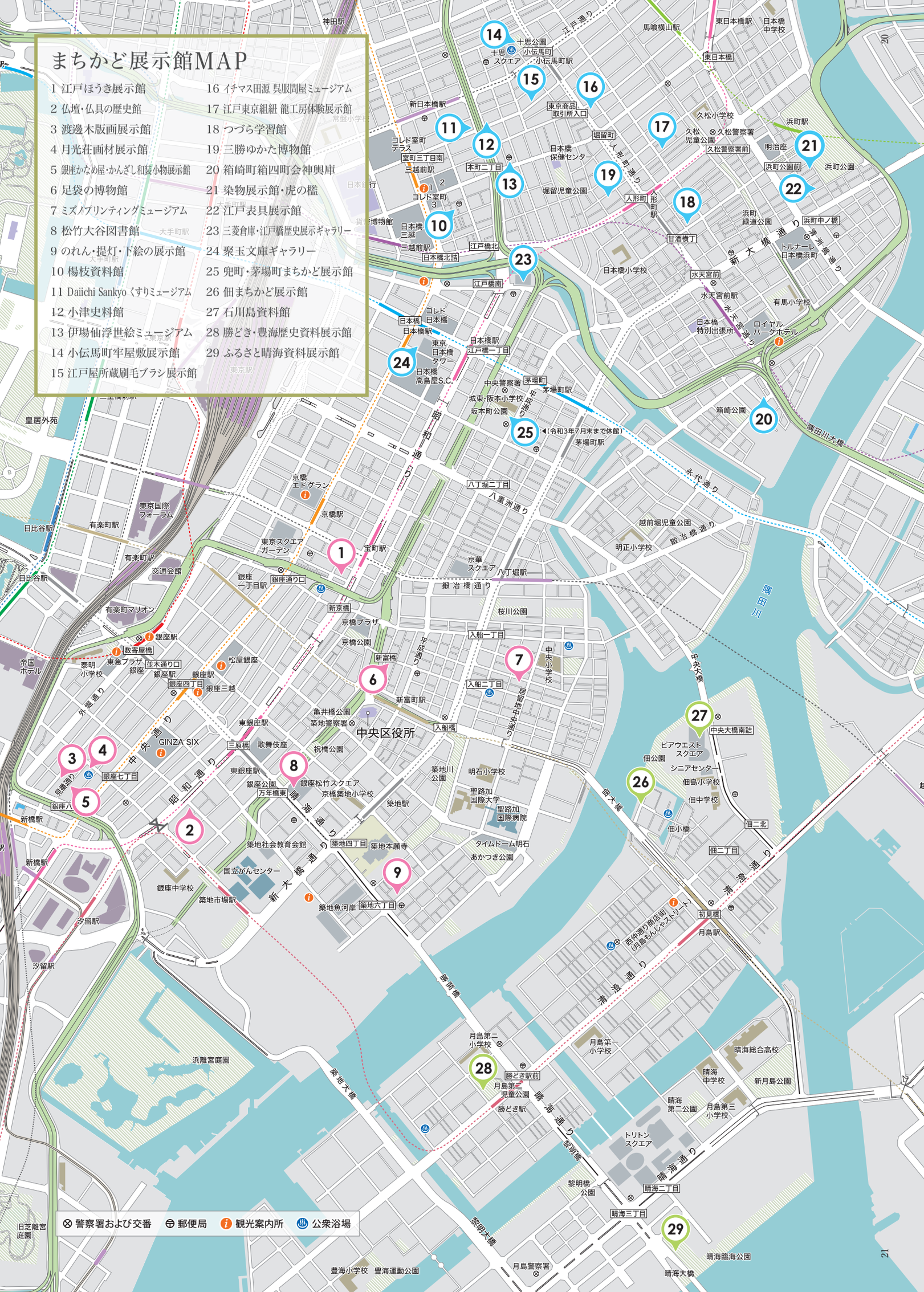
月島エリア

㉖ 佃まちかど展示館
東京都中央区佃1-2-10先 ／
03-3546-5346（中央区区民部文化・生涯学習課内9:00～17:00）
通年 ／ 常時開館

㉗ 石川島資料館
東京都中央区佃1-11-8 ピアウエストスクエア1F ／ 03-5548-2571
水・土曜日（年末年始等を除く）／
10:00～12:00、13:00～17:00（入館は16:30まで）

㉘ 勝どき・豊海歴史資料展示館
東京都中央区勝どき1-9-8 月島第二児童公園内 ／
03-3531-0092（11:00～16:00） 090-3529-3712（11:00～16:00）
毎月 第2土・日曜日 ／ 10:00～16:00

㉙ ふるさと晴海資料展示館
東京都中央区晴海2-4 晴海臨海公園内 ／
080-7723-3158（11:00～16:00）
通年 ／ 常時開館


まちかど展示館MAP
1 江戸ほうき展示館
2 仏壇・仏具の歴史館
3 渡邊木版画展示館
4 月光荘画材展示館
5 銀座かなの屋・かんざし和装小物展示館
6 足袋の博物館
7 ミズノプリンティングミュージアム
8 松竹大谷図書館
9 のれん・提灯・下絵の展示館
10 楊枝資料館
11 Daiichi Sankyo くすりミュージアム
12 小津史料館
13 伊場仙浮世絵ミュージアム
14 小伝馬町牢屋敷展示館
15 江戸屋所蔵刷毛ブラシ展示館
16 イチマス田源 呉服問屋ミュージアム
17 江戸東京組紐 龍工房体験展示館
18 つづら学習館
19 三勝ゆかた博物館
20 箱崎町箱四町会神輿庫
21 染物展示館・虎の檻
22 江戸表具展示館
23 三菱倉庫・江戸橋歴史展示ギャラリー
24 聚玉文庫ギャラリー
25 兜町・茅場町まちかど展示館
26 佃まちかど展示館
27 石川島資料館
28 勝どき・豊海歴史資料展示館
29 ふるさと晴海資料展示館
⊗ 警察署および交番
〒 郵便局
観光案内所
公衆浴場
中央区役所
日本橋小学校
明正小学校
佃小橋
佃中学校
佃小学校
佃二北
佃二丁目
佃公園
ピアウエスト スクエア
シニアセンター
中央大橋南詰
中央大橋
隅田川
永代通り
八重洲通り
鍛冶橋通り
昭和通り
中央通り
新大橋通り
清澄通り
晴海通り
勝鬨橋
築地大橋
黎明大橋
新大橋
隅田川大橋
江戸通り
靖国通り
平成通り
日本橋通り
永代通り
浜町中ノ橋
浜町公園
浜町緑道公園
トルナーレ日本橋浜町
ロイヤルパークホテル
水天宮前
水天宮前駅
有馬小学校
日本橋特別出張所
日本橋小学校
日本橋保健センター
堀留児童公園
堀留町
人形町
人形町駅
甘酒横丁
久松小学校
久松警察署
久松児童公園
明治座
浜町公園前
東日本橋駅
東日本橋
日本橋中学校
馬喰横山駅
十思公園
十思スクエア
小伝馬町
小伝馬町駅
東京商品取引所入口
新日本橋駅
コレド室町テラス
室町三丁目南
三越前駅
コレド室町3
本町二丁目
日本橋三越
三越前駅
日本橋北詰
江戸橋北
江戸橋南
日本橋
日本橋駅
コレド日本橋
東京日本橋タワー
日本橋高島屋S.C.
江戸橋一丁目
日本橋駅
中央警察署
城東・阪本小学校
坂本町公園
茅場町
茅場町駅
（令和3年7月末まで休館）
箱崎公園
八丁堀二丁目
京橋エドグラン
京橋駅
東京スクエアガーデン
宝町駅
京華スクエア
八丁堀駅
越前堀児童公園
桜川公園
京橋プラザ
京橋公園
新京橋
新富橋
新富町駅
入船一丁目
入船二丁目
入船橋
中央小学校
居留地中央通り
亀井橋公園
築地警察署
東銀座駅
三原橋
歌舞伎座
祝橋公園
東銀座駅
銀座公園
万年橋東
銀座松竹スクエア
京橋築地小学校
築地駅
築地川公園
明石小学校
聖路加国際大学
聖路加国際病院
タイムドーム明石
あかつき公園
築地四丁目
築地本願寺
築地社会教育会館
国立がんセンター
銀座中学校
築地市場駅
築地魚河岸
築地六丁目
初見橋
月島駅
西仲通り商店街（月島もんじゃストリート）
月島第二小学校
月島第一小学校
勝どき駅前
月島第二児童公園
勝どき駅
晴海総合高校
晴海中学校
新月島公園
晴海第二公園
月島第三小学校
トリトンスクエア
晴海二丁目
晴海三丁目
黎明橋公園
晴海臨海公園
晴海大橋
月島警察署
豊海小学校
豊海運動公園
浜離宮庭園
旧芝離宮庭園
皇居外苑
東京国際フォーラム
有楽町駅
有楽町マリオン
交通会館
日比谷駅
銀座一丁目駅
銀座通り口
銀座駅
数寄屋橋
東急プラザ銀座
並木通り口
松屋銀座
銀座駅
銀座四丁目
銀座三越
泰明小学校
帝国ホテル
銀座七丁目
銀座八丁目
新橋駅
汐留駅
GINZA SIX
兒童通り
矢場通り
神田駅
常盤小学校
大手町駅
東京駅
日本銀行
貨物博物館
日本橋
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24
25
26
27
28
29

アンケートにお答えいただいた方から

抽選で毎月5名様に
まちかど展示館オリジナルグッズをプレゼント!

本誌のアンケートはがきまたはまちかど展示館ホームページにあるアンケートフォームでアンケートにお答えいただいた方の中から、抽選で毎月5名様に、素敵なプレゼントを差し上げます。どうぞお気軽に本誌へのご意見やご感想をお寄せください。

■応募締切とプレゼントの発送

毎月末日(当日消印有効)。当選者様へは、翌月10日前後にプレゼントを発送します。

※当選者の発表はプレゼントの発送をもって代えさせていただきます。
※アンケートにご記入いただいた個人情報は、プレゼントの発送やご記入者様への諸連絡、また個人が特定できない統計資料の作成に利用させていただきます。個人情報は厳重に管理し、第三者への提供・開示はいたしません。

■アンケートに関するお問い合わせ

中央区まちかど展示館運営協議会(中央区文化・生涯学習課内)　TEL.03-3546-5346

キリトリ

1.本季刊誌をどこでお知りになりましたか?
またはどこでお手に取りましたか?　※複数回答可

1.まちかど展示館　2.まちかど展示館HP・Facebook
3.観光情報センター　4.区施設　5.区内飲食店、商業施設等
6.駅ラック(　　駅)　7.その他(　　)

2.本季刊誌のVol.1～9をご存知ですか?

1.はい　2.いいえ

3.記載の「まちかど展示館」に訪れたことはありますか?

1.はい(展示館名:　　)　2.いいえ

3.訪れた展示館名を教えてください。

4.今後、取り上げて欲しいテーマや内容はありますか?

5.本季刊誌へのご意見・ご感想をお聞かせください。

キリトリ



新しくなった三勝ゆかた博物館!

ゆかた博物館がリニューアルし「三勝ゆかた博物館」となりました。
皆さんのお越しをお待ちしています。
開館日時等は、P.19または、まちかど展示館ホームページをご覧ください。





中央区まちかど展示館
オリジナルスタンプラリー



新しくなった「まちかど展示館パンフレット」P31～P33に掲載のオリジナルスタンプラリーに参加してみませんか。29館のスタンプをすべて集めるとコンプリート特典をプレゼントしています。なお、プレゼントをお選びいただくことはできませんのでご了承ください。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のためご協力ください

・体調のすぐれない方や発熱(37.5℃以上)のある方は来館をご遠慮ください。
・展示館への訪問時は必ずマスクを着用してください。
・消毒液が展示館内に設置されている場合は必ず手指の消毒を行ってください。
・来館者数を制限するため、入場をお断りする場合があります。



■ご注意

展示館内にスタンプを設置していない下記の6館と、スタンプの押印を休止している展示館については、中央区まちかど展示館協議会事務局(区役所8階 文化・生涯学習課)で押印します。
⑳箱崎町箱四町会神輿庫 ㉓三菱倉庫・江戸橋歴史展示ギャラリー ㉕兜町・茅場町まちかど展示館
㉖佃まちかど展示館 ㉘勝どき・豊海歴史資料展示館 ㉙ふるさと晴海資料展示館
●臨時休館や新型コロナウイルス感染症対策などのため開館時間を変更している場合があります。

■応募方法

◉メールの場合　メールアドレス b-syogai_01-mk@city.chuo.lg.jp

スタンプシートのスタンプ全部が写るように撮影し、メール本文にお名前、年齢、住所、電話番号、職業または学校名、メールアドレスを記載してください。

◉持参する場合

下記応募先に押印済みのスタンプシートを持参してください。

※今回の応募を利用された際の個人情報は、当イベント以外の目的で使用することはありません。



江戸ほうき展示館

※写真は特典の一部です。

■中央区まちかど展示館ホームページ ▶ https://www.chuoku-machikadotenjikan.jp

■facebook公式ページ ▶ 中央区まちかど展示館

■まちかど展示館スタンプに関するお問い合わせ・応募先
中央区まちかど展示館運営協議会　中央区築地1-1-1 中央区役所
TEL.03-3546-5346(中央区文化・生涯学習課内)